



田中陽介(41)

た

な
か
よ
う

す
け

野洲を前に 進めるために 市民にとつて

本当に価値のある 議会をつくる。

2期目のテーマ振り返り

田中陽介は議会を良くしたか?

良くすることは議員がしっかり仕事をすること、議会が市民の方としっかりつながること。議会改

革の委員長として4年間様々な課題に取り組み、議員としても先進的な事例の勉強会に通い、その理念や学びを野洲市議会に還元できるよう動いてきました。そして、前半では議会がひとつになり市民の声を聞く議会懇談会の開催、後半では、今までできなかつた委員会議事録公開など、議員各位の協力もあり、実際に形として残すことができました。また、自身の政治スタンスは常に是々非々(与党)でも野党でもない)であり、野洲を前に進めるにはどの選択がベストなのかを考え、判断してきました。結果として一番の課題であった病院整備は治まり、野洲駅前は新たな展開に向か、大きく動き出しつつあります。

常に現場で一緒に動き、楽しむ

田中陽介のまちづくり

2期目はコロナ禍を乗り越え、「光と竹のカーニバル」をはじめ、野洲駅前での「滋賀アートセッション」、「おいで野洲まるかじりフェスタ2023」「野洲フェス」など多様なまちづくりの現場でみんなと共に汗をかき、楽しみながら動いてきました。次の4年も駅前の社会実験、MIZBEステーションの活用を含め、現場主義で行政に提案しました。本当に野洲市民にとって「価値のある議会にすること」で、野洲を前に進めていく。これ

言し、社会教育を推進することで、野洲のまちをみんなと共に創っていきたいと思います。そし

て、誰もが気持ちよく暮らせるまちを目指し、「マツリゴトはジブンゴト」の想いを伝え、みんなをサポートしていきます。

3期目の使命

議会をチームに進化させる

これは3期目の大きなテーマです。「市議会は国會と違い、本来「与党も野党もありません」市議会はひとつの中でもあります。議員がそれを個性と強みを發揮して野洲のまちを良くしていく組織なのです。しかし、病院での対立をきっかけに今まで「市長派、反市長派」といった対立構造になっていました。病院問題が一定解決し、しがらみのない櫻本市長に変わったこのタイミングでこそ、本来の議会の姿に立ち戻らなければなりません。これからは、分断と対立をあおる議員は必要ありません。

議会は議事機関として、みんなで情報を共有し、議論しながら合意形成を目的とする。そして、市民の声を聞くだけでなく、議会(委員会)としてしっかり調査研究を行い、議会として市に政策提案し、その成果をまた市民の皆さんにフィードバックするという「サイクル」をまわしていくなければなりません。これらを推進し、野洲市議会に定着させ、本当に野洲市民にとって「価値のある議会にすること」で、野洲を前に進めていく。これ

プロフィール

1984年4月3日生まれ 41歳
家族構成:両親、妻と3人の子どもたち
会派:未来共創
市議会議員歴:2期8年

生業

- ファンキーフームタナカ代表
- 株式会社アンシェルプ代表取締役
- 農事組合法人にしきの郷

まちでの役割

- 野洲市PTA連絡協議会会長
- 中主小学校PTA会長
- 野洲市農業者クラブ会長
- 南びわこ青年農業者連合会会長
- 野洲青年会議所外部監事
- 野洲市商工会青年部委員長
- おいで野洲まるかじり協議会会員
- 野洲市消防団中里分団団員

基本テーマ
マツリゴトは
ジブンゴト

3期目のテーマ
議会をチームに

田中陽介
公式HP
tanakayousuke.net

